

## 飯豊町TOPICS

中津川地区の体験や移住をサポート  
「いいもんだ中津川」

中津川むらづくり協議会では「いいもんだ中津川移住者相談窓口」を開設。5人の定住支援員が住居や仕事など移住の相談に対応している。中津川には地区で共同管理している山林「財産区」が約1万2000haあり、移住者でも地区内に定住すると年間5000円で5haの山林を借りることが可能。借りられる山林は住居のある集落(地区内に10集落)で維持している場所に限られるが、薪や山菜を採ったりと活用できる。

おらだが  
面倒しから  
安心して  
来てけれ〜

移住担当の伊藤清一さん(68歳)。「冬は“どぶろく”も美味(んま)いよ」。  
☎0238-77-2020



東京・高円寺のアンテナショップで  
相談会を開催!

昨年11月に東京都杉並区高円寺純情商店街にオープンした飯豊町のアンテナショップ「IIDE」で、9月から来年2月にかけて計5回、移住相談会が開かれる。開催日は9月27日、10月25日、11月29日、2016年1月31日、2月28日。いずれも13時~16時。住宅取得奨励(定住の意思を持って住宅を新築または購入する際、1ターン者には100万円の奨励金贈呈)などの支援策情報も提供。



高円寺純情コミュニティカフェ&ショップ「IIDE」。移住相談会の問い合わせは飯豊町総務企画課へ。  
☎0238-87-0521

セミナー会場&山形暮らしに関するお問い合わせは…

## やまがたハッピーライフ情報センター

場所: 東京都千代田区有楽町2-10-1  
アクセス: JR有楽町駅隣、東京交通会館5階(認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター内)

☎03-6269-9533

FAX03-6269-9534

e-mail: yamagata-iju@royal.ocn.ne.jp

受け付け時間:

火曜~金曜12:00~18:00、土曜・日曜10:00~18:00

JR有楽町駅・有楽町線有楽町駅地下直結D8出口



ご相談はこちらにもどうぞ!

すまいる山形暮らし案内所

(山形県市町村課内)

〒990-8570 山形県山形市松波2-8-1

☎023-630-3083

FAX023-630-2130

e-mail: yshichoson@pref.yamagata.jp

山形暮らし 検索

http://www.pref.yamagata.jp/ylife/

長女の雪乃ちゃん(1歳)は中津川生まれ。船渡川さんは中津川産の菅笠を海外で販売する事業も模索中。

神奈川県二宮町から  
2011年5月に移住

ふなとがわはづき  
船渡川葉月さん(34歳)

今年6月にカフェを開業。いずれは手づくりスイーツも提供する予定。夫・賢一さんがつくる雪室で熟成させた自家焙煎コーヒーも好評。



ランチには飯豊牛のカレーや自家製の辛味噌噌でつくる坦々うどんなどを提供。☎0238-87-0255



菅笠づくりの継承者でもある船渡川さん。カフェではスゲを使ったコースターやランチづくりが体験できる。

の知恵を学びました。季節ごとに仕事があつて、山も暮らしも仕事もつながっている。そんな中津川で自分も生きてみたいかったです」  
聞き手から当事者へ。6年通い続け、2011年5月に神奈川県から移住した。農業や農家民宿の仕事を手伝いながら地域とのかかわりを深め、3年前、

千葉県出身の賢一さん(52歳)と結婚。今年6月から自宅の一部を改装し、カフェ「こしやる」をオープンした。  
「今は週末営業のランチですが、地元の人たちが、頑張っている? って利用してくれる。それが、すごくうれしいですね。互いに支え合う優しさ、安心感がある地域ですよ、中津川は」

毎月開催! 山形の今がわかる連続セミナー

## やまがたハッピーライフカフェ

第5回  
便利な田舎  
村山地域の魅力発信

9月6日(日)  
17:00~19:00 (予定)

山形県が都内で開催する年10回の山形暮らしセミナー。5回目は村山地域からの発信。県中央部に位置する村山地域には山形市があり、人口の約半数が集まる。利便性に富むと同時に、果樹園などの田園風景が広がる。



今後の開催予定: 10月18日(日)、11月14日(土)



なんにもねえ  
どごだげんど一緒に  
過ごしてみねが?

農家民宿の女将さんたち。右から伊藤信子さん(75歳)、鈴木みちさん(66歳)、宮かよ子さん(65歳)、伊藤ふみさん(55歳)。民宿「いるり」をバックに。☎0238-77-2631



鈴木さんの民宿「ごえもん」をはじめ、各宿では山菜など地産地物を提供。「ごえもん」☎0238-77-2529



宮さんの民宿「あえる村」では釣り堀も経営。溪流釣りのポイントにも案内。☎0238-77-2584



伊藤ふみさんの民宿「庄太郎」ではおばあちゃんが菅笠づくりを教えてくれる。☎0238-77-2381

飯豊山の麓に位置する飯豊町中津川地区は、河川に沿って家屋が点在する山峡の地。林業で栄え、山形を代表する夏祭り「花笠まつり」で使う菅笠の約8割をつくるなど、山の恵みを活かした暮らしが継承されている。現在の人口は約1200世帯320人。1974年に地区住民みんなが構成員となって「中津川むらづくり協議会」が結成され、さまざまな地域づくりに取り組んできた。中津川の暮らしを体感する農家民宿の運営もその活動の一環である。

農家民宿の担い手の中心は女性たち。この日も4人の女将さんが手料理を持って集まってくれた。自家製の野菜や山菜を豊かに驚く。  
「季節にはお客さんと山に入つて山菜やキノコを採って、一緒に料理を楽しんだりしますね」と民宿「いろり」の女将、伊藤信子さん。農家民宿の醍醐味は地域の飾らない日常を体験できること。「冬の中津川にもぜひ来てください!」とみなさん。積雪が3日を超える中津川は豪雪地帯でもある。四季折々に移りゆく暮らしの風景、女将さんと語り合える足がかりに

なるはずだ。  
「中津川むらづくり協議会」では移住相談窓口も設けており、ここ10年の間に11世帯が移住している。船渡川葉月さんもそのひとり。高校生が各地を訪ね、聞き書きを通して地域を知る「聞き書き甲子園」を運営するNPO法人で働いていたとき、中津川へ調査に来たのがきっかけだ。  
「おじいちゃんやおばあちゃんに話を聞いたり、菅笠づくりを教えてもらったりするなかで、山の資源を活かしてきた暮らし

個性豊かな農家民宿で  
中津川の暮らしを体感

四季折々のやまがた暮らしを体験するなら農家民宿に泊まってみよう。移住相談窓口もある飯豊町の中津川地区には10軒の農家民宿があり、個性豊かなお母さんたちが、あったかい料理と笑顔で待っている。

【体験編】

山村のお母さんを訪ねて飯豊町「中津川」へ



アクセス

山形新幹線米沢駅から米坂線に乗り換え、飯豊町羽前橋駅で下車。東北自動車道福島飯坂ICから米沢市経由で約60分。



飯豊町中津川地区。保存した雪で夏に雪祭りを開くなど、豪雪地帯を逆手にとったイベントも好評だ。